



防災のページ

問い合わせ 総務課 防災グループ ☎27-2481

ペットの災害対策

災害が起こったとき、最初に自分自身や家族の安全確保が重要ですが、ペットの安全確保についても普段から考え、備えておく必要があります。

いざというときに慌てないように、ペットに基本的なしつけをし、避難するときは、ペットと一緒に避難（同行避難）できるよう、日ごろからキャリーバックやケージに入れることなどに慣れさせておくことも必要です。

避難所では、ルールを遵守し、他の避難者に迷惑がかからないようにしましょう。

特に、避難所では動物が苦手な方やアレルギー

を持っている方などへの特別な配慮が求められます。また、避難や避難生活はペットにとっても大きなストレスとなる可能性があるため、ペットの行動も考えて十分に準備しておくことが重要です。

本町では、Animal total care HAYA（字朝日358-1）と「厚真町における災害時等の動物救護活動等に関する協定」を締結し、町公認の動物救護施設に認定しました。大規模な災害発生時には、負傷した被災動物の応急手当や被災動物の保護・管理、被災動物に関する飼育者などへの助言・指導などの支援をいただきます。

飼い主がやるべきこと

- ワクチン接種や寄生虫の駆除など、健康面のチェック
- 最低限のしつけや、ケージに慣らす訓練、マイクロチップなどによる所有者明示
- 住宅の災害対策や、フード、トイレシートなどのペットの避難セットの準備
- 事前の避難場所の確認

もし被災したら

- 災害時にはペットを落ち着かせ、迷子にさせないように注意し、ペットとともに同行避難を！

町が発令する「避難指示等」には、従っていただく必要があります。ペットが理由で避難しないことは、自分の安全を脅かすことにつながりますので、ペットと一緒に同行避難をしましょう。

『同行避難』とは

避難所までの避難行動（行為）のことをいいます。避難所で、ペットと人が同じスペースで過ごすことなどの『同伴避難』を示すものではありません。本町では、町公認の動物救護施設のAnimal total care HAYAに預かっていただくことになっています。



詳しくは、「災害、あなたとペットは大丈夫？」人とペットの災害対策ガイドライン〈一般飼い主編〉（環境省）をご覧ください。

